

科目名	対象学年	対象クラス	単位数	分類	予定時数
数学 I	1	A B C D E F	4	必修	156 時間

教科担当・教材等

授業担当者名	
教科書	数研出版「高等学校数学 I」、数研出版「新編数学 II」
使用教材等	新課程 教科書傍用 クリアー 数学 I +A、新課程 クリアー 数学 I 完成ノート、新課程 チャート式 解法と演習 数学 I +A 新課程 教科書傍用 クリアー 数学 II +B+C、新課程 クリアー 数学 II 完成ノート

科目の目標

学習目標	<p>【知識及び技能】 事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身につける。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 数や式を多面的にみたり適切に変形する力、図形の性質や計量について論理的に考察し表現する力、式・グラフを相互に関連付けて考察する力、データに散らばりや変量間の関係に着目し、適切な手法を用いて分析を行い、問題を解決する力を養う。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりする態度や創造性の基礎を養う。</p>
------	--

年間授業計画

学期	単元・単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価基準
1	<p>第1章 数と式 第1節 式の計算 第2節 実数 第3節 1次不等式</p> <p>第2章 集合と命題</p> <p>第3章 2次関数 第1節 2次関数とグラフ 第2節 2次関数の値の変化 第3節 2次方程式、2次不等式</p>	<p>式の計算・因数分解及び一次不等式についての理解を深め、能率よく計算ができるようにする。</p> <p>命題や条件などの用語の定義を学び、命題の逆、裏、対偶について理解する。対偶を利用した証明法や背理法による証明法を学び、論理的な思考力を身につける。</p> <p>2次関数について理解し、関数を用いて具体的な事象の考察や2次方程式2次不等式を解くなど活用できるようにする。</p>	<p>【知識・技能】 式の計算について基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付いている。</p> <p>【思考力・判断力・表現力】 数の範囲や式の性質に着目し、等式や不等式が成り立つことなどについて論理的に考察する力を見出して表現している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようと探究している。</p>
2	<p>第4章 図形と計量 第1節 三角比 第2節 三角比の応用</p> <p>第5章 データの分析 データの分析</p>	<p>三角比について理解し、基本的な性質について理解を深めていく。</p> <p>図形の計量の基本的な性質について理解し、具体的な事象の考察に活用できるようにする。</p> <p>データからデータの散らばりや相関等の統計の基本的な考え方を理解し、活用できるようにする。</p>	<p>【知識・技能】 三角比やデータの分析について基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付いている。</p> <p>【思考力・判断力・表現力】 三角比を応用させて考える問題について、論理的に考察する力を見出して表現している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようと探究している。</p>
3	<p>第1章 式と証明 第1節 式と計算 第2節 等式・不等式の証明</p> <p>第2章 複素数と方程式 第1節 複素数と2次方程式の解 第2節 高次方程式</p>	<p>多項式の乗法・除法及び分数式の四則計算について理解できるようにする。</p> <p>数の範囲や式の性質に着目し、等式や不等式が成り立つことを証明できるようにする。</p> <p>方程式についての理解を深め、数の範囲を複素数まで拡張して2次方程式を解くことができるようにする。・剰余の定理や因数分解を利用して高次方程式を解くことができるようにする。</p>	<p>【知識・技能】 いろいろな式について基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付いている。</p> <p>【思考力・判断力・表現力】 数の範囲や式の性質に着目し、等式や不等式が成り立つことなどについて論理的に考察する力を見出して表現している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようと探究している。</p>

※生徒の理解度や担当者の工夫により進度が変わるため、必ずしも計画どおりに展開するものではありません。